

学校推薦型選抜
令和6年度 和歌山大学経済学部 学校推薦型選抜（スポーツ）
学校推薦型選抜（簿記）

小論文

出題意図・解答例

【問題1】

設問1

出題意図：比較的長文を読み、筆者の考えを理解したうえで、その内容を端的にまとめることができるか、をみる。

解答例：

伝統的な経済学は経済主体が合理的に選択行動すると仮定し、それを前提として理論を構築した。これにより、第一に、経済学は人間心理のメカニズムに立ち入ることなく、理論を展開することが可能になり、第二に、その仮定の現実性を理論の有用性の評価に用いないこととなった。これに対して、行動経済学はそうした仮定を置かず、無意識の人間行動をも含めて実際に人間がどのように行動するのかを分析するものである。(193字)

設問2

出題意図：比較的長文を読み、筆者の考えを理解したうえで、その内容を端的にまとめることができるか、をみる。

解答例：

「観察される結果 C」＝「人間行動 A」×「(市場等) 制度 B」と捉えた場合、「観察される結果」を経済学的に分析しようとする際、アプローチの方法として、右辺の二つの要因を同時に扱くと煩雑になる。そこでどちらか一方に考察の対象を絞れば、説明は簡素化される。伝統的経済学は、BとCの関係、すなわち市場メカニズムの作用の仕方に焦点をあて、Aを考察の対象から外した。逆に、行動経済学はAに関心があり、AとCの関係を分析しようとしている。よって、伝統的経済学から行動経済学への転換とは、経済学において関心対象が従来のBのみから、Aも含めたものへと多様化しているという点で、革命的といえる。(286字)

学校推薦型選抜
令和6年度 和歌山大学経済学部 学校推薦型選抜（スポーツ）
学校推薦型選抜（簿記）

小論文

出題意図・解答例

【問題2】

設問1

出題意図：

課題の文章の内容を正確に把握できていることを前提として、棄権の問題についての考察力を問うている。

解答例：

選挙に参加していても、政治的思考において今後の可能性を想定していなければ無責任な選択である。また、選択肢がない、あるいは少ないことから、考慮することなく現状維持を選択することも、よりましな選択を行っていないとすれば、無責任な選択といえる。

(119字)

設問2

出題意図：

政治責任に関する筆者の考え方を理解したうえで、その責任をわれわれ個人個人がそれを担う方法についての考察力を問うている。

解答例：

責任者を明確にするために自らが責任をもって決定することや、特定の政治家への支持や絶対的な忠誠をさげ、常に他に選択しうる有効な選択肢を考えておくことがあげられる。さらに、選択肢を選択する際には、より広範な範囲をカバーしうる選択肢をあらかじめ支持することにより、結果的には当該個人の政治責任によって選択することになる。

(157字)